

# 令和3年度 全国学力・学習状況調査結果の米子市(学校組合)の概要

米子市(学校組合)教育委員会事務局

令和3年5月27日に小学校6年生及び中学校3年生を対象に実施された、全国学力・学習状況調査結果について、本市(学校組合)の概要をお知らせします。なお、本調査には、全ての米子市(学校組合)立小・中学校が参加しています。

## 1 全国の状況

本調査は、小学校では、国語・算数の2教科、中学校では、国語・数学の2教科で、小学校第6学年及び中学校第3学年の全児童生徒を対象として実施されました。小学校については、新学習指導要領が全面実施されてから初めての調査でした。各教科においては、改善の傾向が見られたものがある一方、依然として課題が認められるものもありました。具体的には、複数の文章や資料等を結び付けて必要な情報を見付けることや、日常の事象を表、式、グラフなどを用いて数学的に解釈したり説明したりすることなどに課題があることが明らかになりました。また、併せて実施された児童生徒質問紙調査では、児童生徒の学習におけるICT機器の活用への期待が非常に高いことや過年度と比較して、児童生徒の心理面に様々な変化が見られることが明らかになりました。

## 2 米子市(学校組合)の状況

※ 各教科の全体の正答率(市(学校組合)と県)は整数値での公表となっています。よって全国平均値との比較は、1ポイント以上の差をもって「上回る」「下回る」と表現しています。

### (1)教科の概要

#### <小学校6年生>

##### [国語]

・全体として、全国平均とほぼ同等の結果でした。

・「言葉の特徴や使い方に関する事項」の内容では、全国平均を大きく上回る状況でしたが、それ以外の領域では、大きく下回る状況でした。

##### [算数]

・全体として、全国平均とほぼ同等の結果でした。

・「変化と関係」の領域では、全国平均とほぼ同値でしたが、それ以外の領域ではやや下回る状況でした。

##### 【国語】

区分	国語		平均正答率(%)		
			市	県	全国
全体			64	64	64.7
内容	知識及び技能	言葉の特徴や使い方に関する事項	73.1(A)	71.7	68.3
		話すこと・聞くこと	72.9(D)	72.7	77.8
	思考力、判断力、表現力等	書くこと	56.2(D)	58.8	60.7
		読むこと	42.9(D)	42.6	47.2

##### 【算数】

区分	算数		平均正答率(%)		
			市	県	全国
全体			70	69	70.2
領域	数と計算		62.9(C)	61.7	63.1
	図形		57.7(C)	57.9	57.9
	測定		73.6(C)	72.9	74.8
	変化と関係		76.0(B)	75.5	75.9
	データの活用		74.2(C)	72.7	76.0

### ※評価について

A: 全国平均との差が+3ポイント以上

B: 全国平均値との差が同等から+3ポイントまで

C: 全国平均値との差が-3ポイントまで

D: 全国平均値との差が-3ポイント以上

※全体の平均正答率(市・県)は、小数点以下を四捨五入して、整数で表しています。

〈中学校3年生〉

【国語】

- ・全体として、全国平均をやや下回る状況でした。
- ・特に「書くこと」の領域に課題が見られました。

【数学】

- ・全体として、全国平均とほぼ同等の結果でした。
- ・「図形」「資料の活用」の領域は、全国平均を上回る状況でしたが、「関数」の領域は、全国平均をやや下回る状況でした。

【国語】

区分	国語	平均正答率(%)		
		市(学校組合)	県	全国
全体		63	63	64.6
領域	話すこと・聞くこと	79.3(C)	78.8	79.8
	書くこと	54.6(C)	55.7	57.1
	読むこと	46.4(C)	45.8	48.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	73.7(C)	74.6	75.1

【数学】

区分	数学	平均正答率(%)		
		市(学校組合)	県	全国
全体		58	56	57.2
領域	数と式	64.8(C)	63.1	64.9
	図形	52.2(B)	50.8	51.4
	関数	54.8(C)	54.6	56.4
	資料の活用	55.5(B)	55.3	53.8

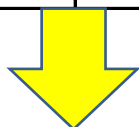
※評価について

- A: 全国平均との差が+3ポイント以上
- B: 全国平均値との差が同等から+3ポイントまで
- C: 全国平均値との差が-3ポイントまで
- D: 全国平均値との差が-3ポイント以上

※全体の平均正答率(市(学校組合)・県)は、小数点以下を四捨五入して、整数で表しています。

(2)本年度、中学校3年生の平成30年度(小学校6年生時)と令和3年度(中学校3年生時)の平均正答率の比較

平成30年度(小学校6年生時)の平均正答率			
	市	全国	差(市-全国)
国語A	70.0	70.7	-0.7
国語B	54.0	54.7	-0.7
算数A	61.0	63.5	-2.5
算数B	49.0	51.5	-2.5



令和3年度(中学校3年生時)の平均正答率			
	市(学校組合)	全国	差(市(学校組合)-全国)
国語	63	64.6	-1.6
数学	58	57.2	+0.8

【主な傾向】

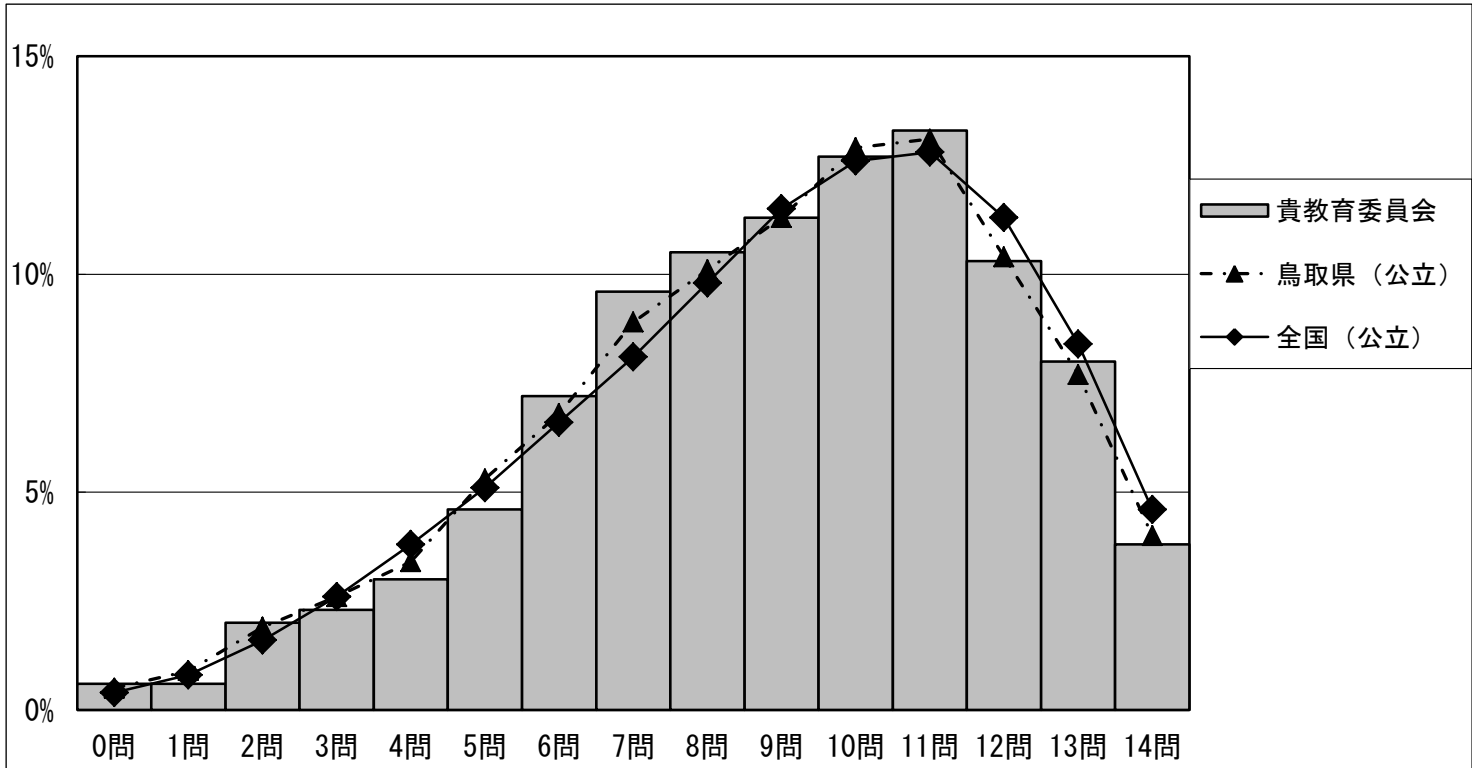
○令和3年度(中学校3年生時)の平均正答率の差(市(学校組合)-全国)は、平成30年度(小学校6年生時)のそれと比べると以下のような状況でした。ただし、一昨年度より各教科の調査問題が統一されたこともあり、単純には比較できないことを申し添えます。

- ・国語A、Bともにマイナスでしたが、中学校国語ではさらに差が広がる結果になりました。
- ・算数A、Bともにマイナスでしたが、数学では、プラスの状況になりました。

(3) 正答数分布に見る本市(学校組合)と全国との比較

正答数分布グラフ(横軸:正答数 縦軸:割合)

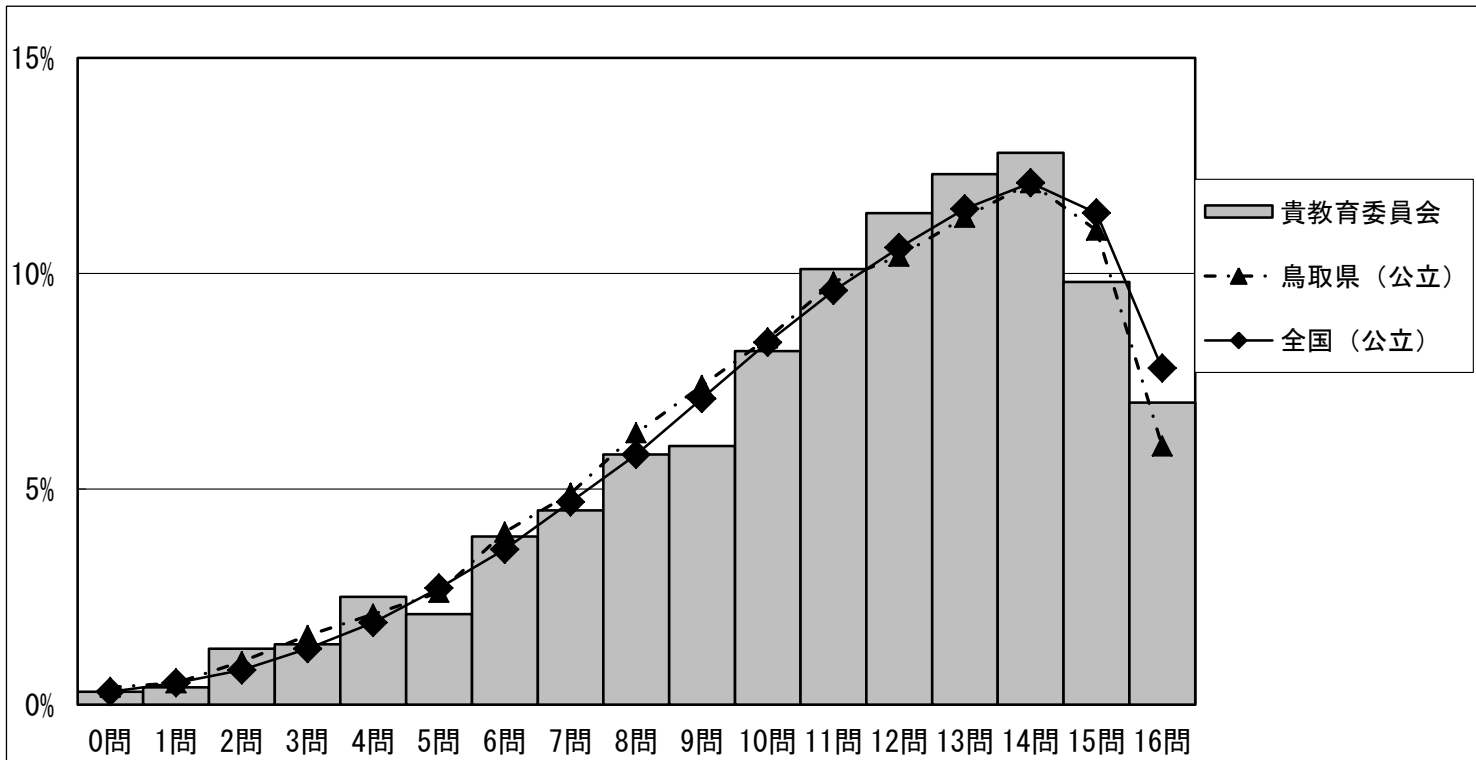
【小学校6年 国語】



※平均正答率は、全国平均とほぼ同じ状況でした。

・本市の正答数の分布は、全国と比べ、12問以上正答した児童の割合が低く、6～8問正解した児童の割合が高い状況でした。

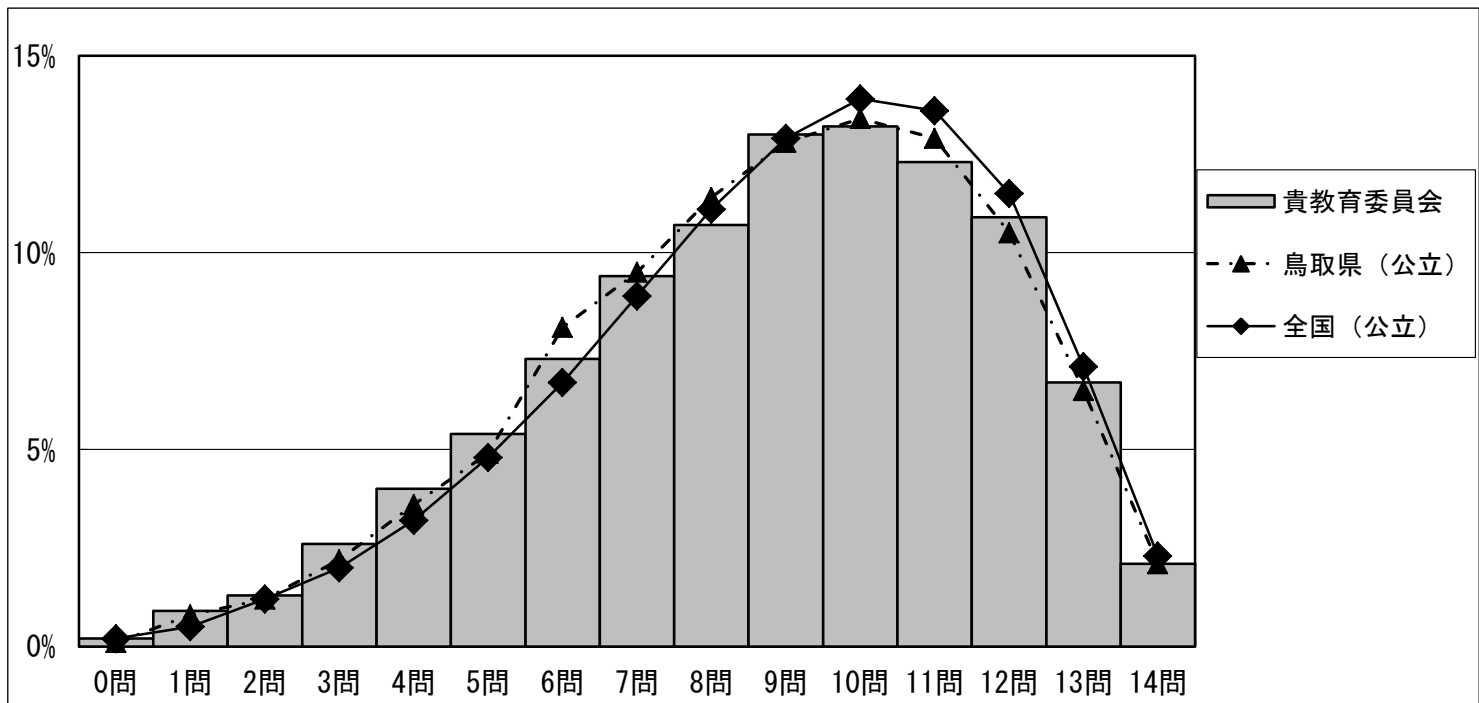
【小学校6年 算数】



※平均正答率は、全国平均とほぼ同じ状況でした。

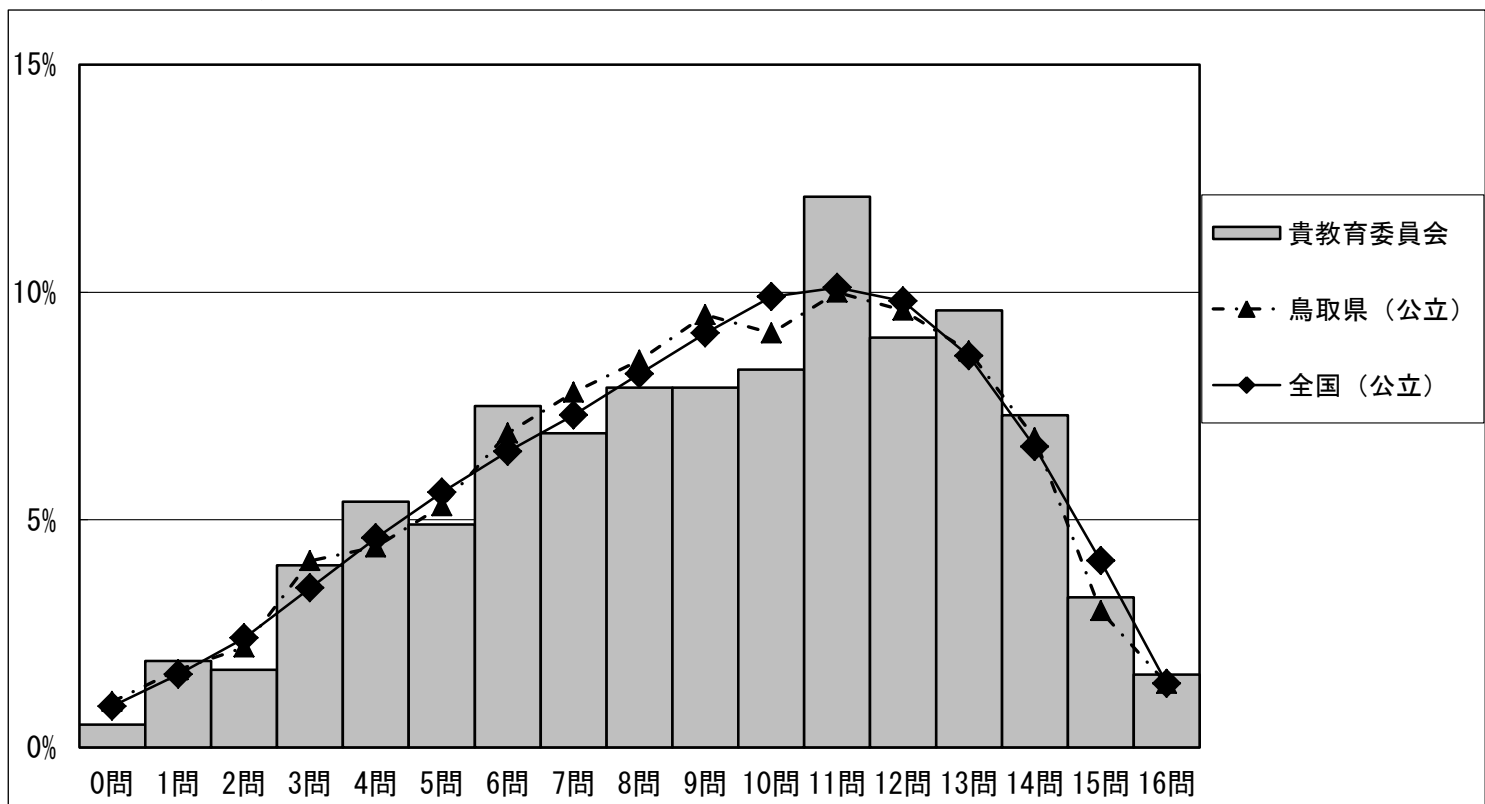
・本市の正答数の分布は、全国と比べ、15問以上正答した児童の割合が低い状況でした。

【中学校3年 国語】



※平均正答率は、全国平均をやや下回る状況でした。  
 ・本市(学校組合)の正答数の分布は、全国と比べ、9問以上正答した生徒の割合が低い状況でした。

【中学校3年 数学】



※平均正答率は、全国平均とほぼ同じ状況でした。  
 ・本市(学校組合)の正答数の分布は、全国と比べ、11問以上正答した生徒の割合が高く、7～10問正答した生徒の割合が低い状況でした。

## (4)子どもたちの学習や生活の様子 ー児童生徒質問紙調査よりー

※全国平均を上回っている数値(色つき)

米子市教育振興基本計画に関連するもの					
「(1)心を育む学びのあるまち」に関連する項目					
	質問番号	質問事項	学年	市(学校組合)	全国
小中共通	〔6〕	自分には、よいところがあると思いますか	小6	78.6%	76.9%
			中3	78.2%	76.2%
	〔7〕	将来の夢や目標を持っていますか	小6	78.3%	80.3%
			中3	66.0%	68.6%
	〔10〕	人が困っているときには、進んで助けていますか	小6	90.1%	88.7%
			中3	86.1%	88.5%
	〔11〕	いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか	小6	98.0%	96.8%
			中3	94.8%	95.9%
	〔12〕	人の役に立つ人間になりたいと思いますか	小6	96.1%	95.5%
			中3	95.3%	95.0%
「(2)学ぶ楽しさのあるまち」に関連する項目					
	質問番号	質問事項	学年	市(学校組合)	全国
小中共通	〔17〕	家で自分で計画を立てて勉強をしていますか	小6	71.8%	74.0%
			中3	66.8%	63.5%
	〔18〕	学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(1時間以上)	小6	57.8%	62.5%
			中3	71.9%	75.9%
	〔21〕	学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか。(10分以上)	小6	65.6%	61.2%
			中3	53.7%	50.1%
	〔27〕	あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の友達(生徒)と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか。(週1回以上)	小6	36.5%	39.0%
			中3	54.3%	34.8%
	〔28〕	学習の中でコンピュータなどのICT機器を使うのは勉強の役に立つと思いますか	小6	96.1%	94.5%
			中3	92.9%	93.2%
「(3)郷土で育む学びのあるまち」に関連する項目					
	質問番号	質問事項	学年	市(学校組合)	全国
小中共通	〔24〕	今住んでいる地域の行事に参加していますか	小6	67.2%	58.1%
			中3	44.9%	43.7%
	〔25〕	地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか	小6	53.7%	52.4%
			中3	44.3%	43.8%
「(4)健康で安心して学べるまち」に関連する項目					
	質問番号	質問事項	学年	市(学校組合)	全国
小中共通	〔1〕	朝食を毎日食べていますか	小6	95.2%	94.9%
			中3	94.6%	92.8%
	〔2〕	毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	小6	86.7%	81.2%
			中3	79.8%	79.8%
	〔3〕	毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	小6	92.0%	90.4%
			中3	94.3%	92.7%
	〔5〕	普段、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲームをしますか(1時間以下)	小6	27.5%	23.7%
			中3	18.6%	19.7%

【全国と本市(学校組合)との比較で特徴的な評価項目】

	肯定的な評価項目(全国との差が+5ポイント以上)	本市 (学校組合)
小学校	○毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	+5.5
	○自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で表すことができますか	+5.3
	○今住んでいる地域の行事に参加していますか	+9.1
	○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか	+5.2
	○あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	+9.3
	○学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	+5.1
	○国語の勉強は好きですか	+5.5
	○英語の勉強は好きですか	+6.3
	○5年生までに受けた英語の授業では、英語で自分自身の考えや気持ちを伝え合うことができていましたか	+5.2
	○新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、規則正しい生活を送っていましたか	+8.8
○解答時間は十分でしたか(国語)	+9.7	
中学校	○学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	+5.3
	○あなたは学校で、コンピュータなどのICT機器を、他の生徒と意見を交換したり、調べたりするために、どの程度使用していますか	+19.5
	○授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめたり、思いや考えをもとに新しいものを作り出したりする活動を行っていましたか	+5.0
	○学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか	+5.2
	○あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか	+7.6
	○学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか	+5.4

	否定的な評価項目(全国との差が-5ポイント以下)	本市 (学校組合)
小学校	○学習塾の先生や家庭教師の先生に教わっていますか(インターネットを通じて教わっている場合も含む)	-6.2
	○5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか	-21.7
	○普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、スマートフォンやコンピュータなどのICT機器を、勉強のために使っていますか	-8.1
	○新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか	-7.5
中学校	○携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか	-6.2
	○1、2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICT機器をどの程度使用しましたか	-7.9
	○数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	-5.8
	○新型コロナウイルスの感染拡大で多くの学校が休校していた期間中、勉強について不安を感じましたか	-9.6

### 3 調査結果を受けて

#### <学校では>

##### <小学校6年生>

国語では、文中の漢字を正しく書く力や、主語と述語の関係を捉える力について、これまでの指導の成果が現れていました。しかし、「知識」に関する内容においては、修飾と被修飾との関係を捉える問題に課題が見られました。また、「活用」に関する内容においては、目的に応じて文章と図表とを結びつけて必要な情報を見付けたり、目的を意識して、中心となる語や文を見付けて要約したりすることに課題が見られました。

算数では、棒グラフから数量や項目間の関係を読み取る力について、これまでの指導の成果が現れていました。しかし、複数の図形を組み合わせた平行四辺形の面積の求め方と答えを記述する問題や、帯グラフで表された複数のデータを比較し、示された特徴を持った項目とその割合を記述する問題に課題が見られました。

国語・算数ともに、その勉強の大切さや将来役に立つ学習だと感じている児童が多くいることがわかりました。

以上のような状況を踏まえ、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得するために、一層の習熟が図れるような繰り返しの指導に加え、個に応じたきめ細かな指導を充実させる必要があります。あわせて、既習内容を活用したり、新たな課題を探究したりする学習を通じて、知的好奇心を喚起し、学習のおもしろさを感じたり、自ら課題を見つけ、その解決に向けて主体的に取り組んだりできるよう、指導の手立てを工夫していくことが必要です。また、日頃の学習から、解答を求めるだけでなく、その根拠や自分の考えをしっかりと表現する力を育てていく必要があります。そのために、友達と解決方法を吟味・検討するといった対話的な学習や、すべての教科でまとめや振り返りをしっかりと書く学習も推進していきます。

##### <中学校3年生>

国語では、話し合いの話題や方向、質問の意図を捉える問題や文脈に即して漢字を正しく読む問題において、これまでの指導の成果が現れていました。しかし、書いた文章を読み返し、語句や文の使い方、段落相互の関係に注意して書く問題や、文章に表れているものの見方や考え方を捉え、自分の考えを持つ問題等に課題が見られました。

数学では、与えられた表やグラフから、必要な情報を適切に読み取る問題や与えられたデータから中央値を求める問題等において、指導の成果が現れていました。しかし、日常的な事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題や、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する問題等に課題が見られました。

以上のような状況を踏まえ、今後も基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得するために、一層の習熟が図れるような繰り返しの指導、個に応じたきめ細かな指導を充実させるとともに、既習内容を活用したり、新たな課題を探究したりする学習を通じて、知的好奇心を喚起し、学習のおもしろさを感じたり、自ら課題を見つけ、その解決に向けて主体的に取り組んだりできるよう、指導の手立てを工夫していくことが必要です。また、問題解決的な学習過程の中で、生徒同士の対話的な時間をこれまで以上に保障しながら、自分の考えを数学的な表現を用いて、論理的に説明する力を一層育てていく必要があります。

##### <小・中学校共通>

○家庭と連携をしながら、家庭での学習習慣や生活習慣の確立に努める必要があります。特に、携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方やテレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式ゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)の使用時間については、喫緊の課題です。

○児童生徒の自己肯定感がさらに高まるよう、学校、家庭、地域が一体となり、成長を支援していくことが大切です。

○単年度の結果のみならず、これまでの14年間の経年結果をもとに、各学校の課題の傾向を明らかにし、今後の取組に生かしていくことが必要です。

○小・中学校が児童生徒の学力や生活習慣における課題の傾向を明らかにし、9年間の内容を系統化し、一貫した指導を行っていけるよう、小中一貫教育を推進していきます。

<家庭では>

児童生徒の学力の定着を図るために、以下のような取組をお願いします。

○基本的な生活習慣を身に付けさせましょう。

→あいさつや食事、睡眠、朝食の摂取など規則正しい生活リズムを身に付けると、児童生徒の本来持っている力が高まります。

○家庭で学習する習慣を定着させましょう。

→中学校区で配布されている家庭学習の手引きを参考に、家庭で学習する時間(目安)を見直してみましよう。

→小学生は、学年段階に応じて宿題や授業の予習・復習などに主体的に取り組むこと、中学生は、計画を立てて主体的に学習することで、幅広い学力が定着します。

○新聞を読む習慣を身に付けさせましょう。

→学校の図書館等に、児童生徒を対象とした新聞などもあります。世の中の動きがわかり、社会的なものの見方や考え方が育まれるとともに、語彙力や文章表現力が身に付きます。

○日常生活の中で社会のルールやマナーを身に付けさせましょう。

→思いやりの心や社会性などの豊かな心を育むことができます。

○家庭での読書をさらに勧めましょう。

○地域の行事やボランティア活動に積極的に参加させたり、郷土の自然や文化にふれる体験をさせたりしましょう。

これまでの調査結果から、引き続き、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、知識・技能等の活用を図る指導の充実が大切であることがわかりました。また、自己肯定感や規範意識が高い児童生徒、各教科の学習に関心意欲が高い児童生徒の学力が高い傾向にあることもわかりました。さらに、普段の授業の中で、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えることに積極的に取り組んでいる児童生徒の学力が高い傾向にあることもわかりました。

米子市(学校組合)教育委員会としましては、これまでの調査結果と他の調査結果を関連させて考察した上で、今後も主体的・対話的で深い学びの実現に向けて取り組んでいきます。また、学習習慣や生活習慣の確立が学力の定着に極めて重要ですので、今後さらに学校と家庭とが連携できるような取組を進めていきたいと考えています。